

# 感動算数のすすめ

## —授業の本質をつかむ—

綾部市立綾部小学校  
村上 元良

# 感動算数のきっかけ

(最近の授業を見て)

- おもしろい授業かな？(おもしろくないな)
- 先生は楽しそうかな？(楽しそうじゃないな)



## 1 授業について

■授業評価の視点

## 2 授業者について

■教材研究、教材解釈の視点

# 授業者から

おもしろそうな授業と

つまらなそうな授業の

違いは？ 何が違うのかな？

★教師が楽しんでいれば→

おもしろい授業になる

★村上の感動算数は、教師が楽しむこと  
教師が感動することがスタートである。

【主語は教師】

# 感動算数は

■ 教師が楽しく授業をすると



子どもも楽しくなる(だろう)

■ 教師が楽しくないと



子どもも楽しくない(だろう)

★(少なくとも)教師が感動していないと、子どもに感動は伝わらない

# 感動算数のために

## 【心がまえ】

1 教える人から→感動する人へ

2 答えを求める人→試行錯誤(吟味)する人へ



1 感動したことがあるか？

2 試行錯誤したことはあるか？

# 感動算数のイメージ

## 綾部小学校の例

- たしざんの言葉を数式へ

※「たしざんて すごい」

- 5年生 きまりをみつける授業

※ 実際にかぞえる姿を教師も

- 1年生 大きな数

※ 子どもたちといっしょに悩む教師

- かえますか ※計算とどちらが便利か

**おもしろい→すごい(発見や驚きが感動へ)**

# 感動算数は

## ■ 感動算数は

- 教師が教材の本質(価値)を発見し(に気づき)し指導のモチベーションに変換(感動)すること
- 教材の本質(価値)を教師と子どもが共有すること

# 感動算数のつくりかた

教材を**3回**読む

1 一人の人間として

例 算数の題名読み

2 教師として

3 授業者(担任)として



# 感動算数のつくりかた

## 教師もアクティブ・ラーニング

### 1 主体的に

(教材研究・教材解釈) (授業づくり)

### 2 協働的に

(学校で研究会で)

# 先生方の明日からの実践に期待

## ■ 「感動算数」の願い

教師が変われば、

授業も変わる、

授業が変われば、

子どもが変わる